

## 8月の都内経済状況







営業開発部

項目	天気図	コメント
現在の景気動向		8月の都内の景気は緩やかに回復している。百貨店・スーパー・コンビニエンスストアの売上は、いずれも前年を上回ったが、乗用車販売は2ヵ月連続で前年を下回った。住宅着工、公共投資はいずれも2ヵ月ぶりに増加した。輸出は14ヵ月連続で増加したが、増加幅は2ヵ月連続で縮小した。有効求人倍率は5ヵ月連続で上昇した。工業生産(7月)は2ヵ月ぶりに前月から減少した。27年度上期の設備投資、経常損益は、いずれも前年を上回る見込みとなっている(法人企業)。
今後の見通し(3ヵ月)		都内の景気は引き続き緩やかな回復が期待されるが、中国などの海外景気の下振れなどが今後のリスク要因となっている。
個人消費費	百貨店売上高 	百貨店売上高は、前年同月比4.9%増と5ヵ月連続で前年を上回った(既存店ベース)。主力の衣料品は、好天が続いた月上旬は夏物、気温が低下した中旬以降は秋冬物の動きが良く、堅調に推移した。また、訪日外国人客の増加などから、化粧品、美術・宝飾・貴金属は高い伸びを持続している。
	スーパー売上高 	スーパーの売上高は、前年同月比2.2%増と5ヵ月連続で前年を上回った(既存店ベース)。食料品は農産品の相場高を背景に増加し、衣料品も猛暑日が続いた月前半に夏物を中心に好調に推移した。
	コンビニ売上(関東) 	関東地区のコンビニエンスストアの売上高は、前年同月比4.2%増と30ヵ月連続で前年を上回った(全店ベース)。淹れたてコーヒーなどのカウンター商材や月前半の気温上昇で夏物商材が好調に推移した。
	乗用車登録台数 	乗用車販売台数(軽を含む)は、前年同月比▲2.2%と2ヵ月連続で前年を下回った。車種別でも、普通車(同▲0.0%)が微減ながら5ヵ月ぶりに減少に転じ、小型車(同▲2.0%)は2ヵ月連続で、4月から増税となった軽乗用車(同▲8.5%)は8ヵ月連続で減少した。
住宅建設		住宅着工戸数は、前年同月比10.3%増と2ヵ月ぶりに前年を上回った。利用関係別では、分譲マンション(同▲0.2%)は減少したが、持家(同0.3%増)は2ヵ月ぶり、分譲一戸建て(同1.6%増)は5ヵ月ぶりに増加し、貸家(同23.7%増)は3ヵ月連続で増加した。
公共投資		公共工事請負金額は、前年同月比22.5%増と2ヵ月ぶりに前年を上回った。発注者別では、独立行政法人(同▲0.5%)、地方公社(同▲27.2%)は減少したが、国(同62.4%増)、東京都(同35.7%増)、市区町村(同16.1%増)は増加した。
貿易(東京税関管内)		東京税関管内の輸出額は前年同月比3.2%増と14ヵ月連続で前年を上回ったが、増加幅は前月から7.3ポイント縮小した。主要地域別では、アメリカ向け(同12.6%増)、中国向け(同3.6%増)、アジアNIEs向け(同4.6%増)、ASEAN向け(同6.4%増)は増加したが、EU向け(同▲10.7%)は減少した。
設備投資(法人企業)		東京財務事務所「法人企業景気予測調査(27年7~9月期調査)」によると、都内の法人企業(資本金1千万円以上)の27年度上期の設備投資計画額は、全規模が前年同期比18.7%増の増加見込みで、規模別では、大企業が同19.8%増、中堅企業が同▲1.5%、中小企業が同16.5%増の見込みとなっている。
企業収益(法人企業)		同上調査によると、都内の法人企業(同上)の27年度上期の経常利益は、全規模が前年同期比10.0%増の増益見込みで、規模別でも大企業(同10.0%増)、中堅企業(同11.5%増)、中小企業(同21.6%増)がいずれも増益見込みとなっている。
労働需給		有効求人倍率(季調値)は1.82倍と、前月から0.06ポイント上昇した。上昇は5ヵ月連続。先行指標とされる新規求人数は前年同月比9.2%増と2ヵ月ぶりに前年を上回った。南関東の完全失業率は3.4%で、前月から0.2ポイント上昇した。完全失業率の上昇は3ヵ月ぶり。
企業倒産		企業倒産件数は前年同月比▲17.2%、負債総額も同▲18.1%といずれも2ヵ月ぶりに減少した。1~8月累計の倒産件数は全体が前年同期比▲11.5%で、業種別ではサービス業(同▲4.1%)、製造業(同▲8.6%)、建設業(同▲28.6%)、小売業(同▲11.6%)などが減少し、卸売業(同4.7%増)、情報通信業(同1.4%増)が増加した。
資金需要(銀行)		銀行の都内向け貸出残高は前年同月比5.8%増と48ヵ月連続で前年を上回り、増加幅も前月から0.1ポイント拡大した。増加幅の拡大は2ヵ月連続。

工業生産指数(季調値) ( )は前年同月比%	工業在庫指数(季調値) ( )は前年同月比%	消費者物価指数 ( )は前年同月比%	(一〇メモ) 東京の高齢者人口は過去最高
5月 98.8 (▲7.6)	5月 110.7 (▲12.5)	6月 102.2 ( 0.3)	東京都の推計によると、今年9月15日現在の都内の高齢者(65歳以上)人口は、296万6千人で対前年比7万2千人(2.5%)増加し、過去最高となった。高齢化率(総人口に占める高齢者の割合)は、22.9%で、このうち、75歳以上は141万9千人、同4万6千人(3.4%)の増加となった。
6月 101.0 (▲3.1)	6月 119.2 (▲5.3)	7月 102.0 ( 0.1)	
7月 99.4 (▲5.4)	7月 111.4 (▲13.1)	8月 102.2 ( 0.1)	

\*工業生産指数・在庫指数、消費者物価指数は2010年平均=100。\*工業生産指数・在庫指数の前年同月比は、原数値による。

表は、都内経済の最新のデータを集めた当行独自のものです。なお、お天気マークは当部の判断です。

天気図表示の意味						
		晴れ	晴れ時々曇り	薄曇り	曇り	小雨